PRESS RELEASE

JA山口県

令和７年５月 12 日

報道機関各位

今年の「萩たまげなす」もでっかーい！おいしーい！！

「令和７年産萩たまげなす出発式」を開催します

「萩たまげなす」は、その大きさと味の良さにたまげる（驚く）ことから名づけられた山口県のこだわり野菜で、やまぐちブランド（※2 枚目の参考参照）の登録第１号です。重さ 500g 以上で品質の良いものだけが「萩たまげなす」として販売されます。

このたび、県内外の量販店や飲食店に向け、萩産地での出荷が本格的に始まることから「令和 7 年度産萩たまげなす出発式」を行います。



日時：令和７年５月 16 日（金）11 時 00 分から１時間程度
※雨天決行

場所：萩青果株式会社（萩市大字椿 3395-13）

内容：（１）出荷目合わせ（午前 11 じから）：出荷方法や出荷規格の説明
（２）出発式（午前 11 時 30 分から）：トラック積み込み、出荷見送り

主催：ＪＡ山口県萩統括本部

本件に関するお問い合わせ先
※取材を希望される場合はあらかじめご連絡ください
〒758-0061　萩市大字椿 3377
JA 山口県南萩営農センター（担当：松本）
電話：0838-21-7731

伝えたい　次代へ　この故郷を

【参考】

品種・その特性等

・「萩たまげなす」の品種名は「田屋（たや）ナス」。長門市の田屋地区で昭和初期に栽培されていたことから、この名がつきました。特に、重さ 500ｇ以上で品質の良い果実を「萩たまげなす」として販売しています。特徴はその果実の大きさ、そして味の良さです。アクが少なく、果肉に弾力があり、加熱するとトロリとした食感に変化します。

・大きな果実を収穫するため、１株につける果実の数を制限しています。

・夏野菜ですが暑さが苦手なため、収穫時期が５月から７月上～中旬と短く、大変貴重な伝統野菜です。近年、猛暑のため出荷期間が短くなる傾向があります。

・平成 15 年から本格的な栽培が復活し、今年は、萩市と長門市で５戸の生産者が約 34ａのハウスで栽培に取り組んでいます。このうち、萩市では３戸の生産者が約 30ａのハウスで栽培に取り組んでいます。萩産地では出荷量 15,000 本を目指しています。

やまぐちブランド

山口県で生産される農林水産物及び主な原材料が山口県産 100%の加工品を対象に、味や品質を重視した独自の基準を設けて厳選した商品。

